学校名	栗ガ丘小学校
ホームページURL http://academic1.plala..or.jp/kurigaok	児童・生徒数　６７８ 名

(1) テーマ	(2) 活動の単位に○をつけてください
「子ども自らが課題をとらえて追究し、自己表現力が育つ授業のあり方」 テーマの分類（　①―オ　） 下記の欄外記載事項を参照してください。	学級・同一学年・３～４年 ５～６年・学校・ その他（　３～６年の縦割り　） 該当学年　　年 （回答可能な場合）

(3) 活動のねらい

・自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する
・学び方や物の見方を身につけ、問題の解決や探究活動に、主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる

(4) 活動の実際（活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等）

人権、国際理解、情報、環境、健康・福祉、地域その他の７グループを教師側で立案。児童は、自分の興味・関心からグループを選び、その中で活動。

時数（１４　　）

(5) 指導体制（校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等）

３～６年の学級担任と専科職員（教頭含む）をグループの人数に応じて担当した。地域の方にも外部講師としてきていただいている。

(6) 指導上の留意点（時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等）

校外学習が多くなることを考え、今年度は土曜日の２～３校時を設定。

(7) 評価（基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際）

模造紙にまとめたり、制作物を展示したり、ビデオを撮ったりという形で発表の場を設け、それを中心に活動内容と合わせて評価したいと考える。

(8) 成果と課題

・自らの課題に向かって追究している姿が、高学年中心に見られる。
・縦割りグループのため、子どもの実態や活動状況を把握しにくいときもある。
・「こういうことができる」という積み重ねが必要。初めての試みであったので、教師側も手探りの状態であるが、立ち上げのところはある程度枠を決めて、その上にできる活動を重ねていくようにしたい。

※テーマの分類　①横断的・総合的な課題（①ーア　国際理解　①ーイ　情報　①ーウ　環境　①ーエ　福祉・健康　①ーオ　その他）　②児童生徒の興味・関心に基づく課題　③地域や学　校の特色に応じた課題